

活動の様子をご紹介します！



日中活動～7月 うちわ制作
今年の夏も暑い日が続きました。少しでも涼しく過ごしたい!!

という事で「My うちわ」作りに挑戦しました。各自でシールを貼ったり、絵や文字を書いたり・・・個性あふれるうちわが完成しました。その日は似顔絵の達人が活動に参加しており、「書いて！書いて！」の大合唱。みなさん、世界で一つだけのうちわを手にすることができ大満足でした。その後、使っている人を見ていないのが残念ではありますが・・・。



マンパンマン大好き



似顔絵に感激

選択外出～8月 大通り公園 ビヤガーデン

今年度の選択外出で一番人気だったのが「ビヤガーデン」でした。人数が多かったため8月8日は女性限定、10日は男性限定で実施。天候にも恵まれ普段はほとんど飲む機会のない「ビール」を楽しみました。サイドメニューも充実しており「焼き鳥」「フライドポテト」「ピザ」「アイスクリーム」などなど・・・好きな物を好きなだけ食べちゃおう!!という事でそれぞれが好きな物をオーダー。食後は大通り公園内を散策するなど北海道の短い夏を満喫しました。



まずはみんなで「ポーズ！」



注文完了。飲むぞーと準備万端



もくもくと・・・食べます。

選択外出～7月 藻岩山

藻岩山から札幌市内を見てみよう!!をコンセプトに企画されました。初めの人も多くワクワク、ドキドキといった感じでした。藻岩山観光道路を経由、中腹駅へ。モータースカーに乗り込み山頂を目指しました。モータースカーは2分程の乗車のためアツという間に到着でした。「わーすごーい」「きれいーい」と思わず歓声が上がりました。お天気も良く360°遠くまで眺めることが出来ました。ほぼバリアフリーのため、移動も楽々。みなさんにもお勧めです。噂では夜景も最高・・・だそうですよ。



山頂目指して出発です！



あまりの景色に思わず立ち上がってしまいました



活動の様子をご紹介します！



6月 家族交流会 愛らんどの日常の活動の様子を、御家族に見学して頂き、作業や活動に利用者さんと共に取り組んで頂きました。



織り機を使ってコースターを作成しています。

↑ 空き缶をつぶす前にプル取りをし、プルを取った空き缶は缶つぶし機でつぶしてから、回収業者に買い取ってもらい、利用者さんのお給料として支払われます。

活動の様子をご紹介します。



7月 調理実習 メニューは焼肉、塩おむすび、サラダ、焼きフランクフルト。美味しいサラダを作っている様子や出来上がりの写真です ↓ 中庭も使い、みんなでおいしく食べました。おむすびを3個も食べた利用者さんも！



9月 秋祭り 今年の秋祭りの開会宣言！2人とも見事に大役をこなしました。餅まきでは、みなさん真剣でした！そして、おいしく沢山食べました！



「僕達2人、似てるでしょ〜！」



すぽっとらいと

みなさんは「富山型デイサービス（共生型サービス）」をご存知ですか？富山県といえば、「黒部の太陽」でお馴染みの「黒部ダム」や「ますのお寿司」「氷見の寒ブリ」などが有名ですが、福祉の業界でも有名な地域の一つです。「富山型デイサービス」とは、「児童」「障がい者」「高齢者」といった年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に、身近な地域でデイサービスを受けられる場所のことを言い、平成5年に3人の看護師が富山県内に民間デイサービス事業所を創業したことにより誕生し、富山県から全国に広がっていったサービスです。

これは既存の縦割り福祉ではなく、利用される方を限定しないので、お年寄りが小さな子どもを見守ったり、障がいのある方がスタッフのお手伝いをしたり、また決められた日課がなかったりと、地域だと当たり前の生活がそこにはあります。

平成30年度からは制度化され、「共生型サービス」事業としてスタートする方向で話が進んでいます。北海道はというと、「北海道共生ケアネットワーク」が立ち上がり、現在江別市に1事業所、今後小樽市や美瑛町でも開設の準備が進められているとか。

相談支援をしていると、どうしても得意・不得意と感じてしまう分野があります。実際、障がい福祉と言っても、「身体」「知的」「精神」「発達」など様々な分野があり、それに加え、「児童」も「高齢者」も「難病」もとなると、特性に合わせた適切なサービスを提供することが出来るのかと心配になってしまう方がいるかもしれません。

以前参加した「富山型デイサービス」の講演会で、参加者から同ような質問が投げかけられたところ、「身体障がい」のプロはいないけれど、「身体障がいのあるAちゃん」のプロならいる。年齢や障がいの有無ではなく、目の前にいる「利用者」のプロとして、日々考え、時に悩みながら支援をしていると説明されていました。

この言葉は自分にとってハッとさせられると同時に、モヤモヤしていた気持ちを吹き飛ばしてくれました。これからも目の前にいる相談者一人一人と向き合い、適切な支援が出来るよう日々精進していきたいなと思います。